

県における都市と農山漁村の交流関連事業の実施状況（平成18年度実施）

	1	2	3
担当課	農村環境課	農村環境課	農村環境課
事業名	都市農村交流推進事業	みんなで進めるむらづくり事業	ふるさと水と土保全対策事業
期間	平成18年度～	平成17年度～21年度	平成5年度～
H18予算	10,780千円(県10,780)	105,103千円(県105,103千円)	7,500千円(県7,500千円)
事業概要	<p>1.目的 都市と農村の交流体験を通じて、農業・農村に対する都市住民の理解促進や農業・農村の活性化を図るため、協議会開催などにより、交流施策を検討するとともに先進事例分析など都市農村交流活動推進のための調査等を行う。</p> <p>また、研修会等の開催や交流団体の活動の支援を行うとともにグリーン・ツーリズムインストラクターの組織化や体験ツアーの実施、旅行専門誌等を使った情報発信を行う。</p> <p>2.内容 都市農村交流県推進事業 行政、農林業、観光産業関係者などで構成する茨城県都市農村交流推進協議会等を開催し、グリーン・ツーリズム推進方策の検討等を行う。</p> <p>グリーン・ツーリズム推進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践団体のレベルアップ(研修会等) ・実践団体の活動支援 <p>【事業主体】交流実践団体</p> <p>【区分】</p> <p><u>ア.一般型</u> (標準事業費 900千円×補助率 1/3: 2団体)</p> <p><u>イ.空き家・古民家活用型</u> (標準事業費 2,000千円×補助率 1/2: 1団体)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グリーン・ツーリズムインストラクター連絡協議会設置 ・グリーン・ツーリズム体験ツアー開催支援(5コース)【補助率】定額 400千円 ・旅行専門誌等にPR記事を掲載 	<p>1.目的 活力とうるおいのある農村の創造を目指して、農村コミュニティ活動の促進、地域資源を活用した交流拡大や農村景観保全と生活環境の整備を図る。</p> <p>2.内容 事業主体：市町村，集団等 対象期間：3ヶ年 対象地域：県内全域の農村地域</p> <p>事業内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流拠点施設（市民農園，直売所等）やコミュニティ施設の整備 ・農村の景観や生活環境の保全整備 <p>H18補助予定</p> <ul style="list-style-type: none"> 稲敷市（観光農園，直売所整備等） 下妻市（直売施設整備等） 美浦村（木原地区農村公園整備等） 那珂市（直売施設整備等） 土浦市（直売施設整備等） 	<p>1.目的 中山間地域を中心に、農地や土地改良施設の有するさまざまな公益的機能の良好な発揮と地域住民活動活性化を図るため、地域住民活動を推進する人材の育成や、施設の保全・利活用の促進に対する支援や、都市住民等の棚田保全活動への参加推進等を行う。</p> <p>2.対象地域：過疎地域，振興山村地域，特定農山村地域及びこれらの地域と一体として事業を推進することが効果的な地域又は主傾斜1/20以上の農地面積が当該地域の1/2以上を占める地域</p> <p>3.内容</p> <p>(1)調査研究事業 農地や土地改良施設の機能の強化・保全についての基本的対策等の作成など</p> <p>(2)研修事業 ふるさと水と土指導員の育成</p> <p>(3)推進事業 県委員会の設置及び運営、地域住民活動の推進指導、保全対策事業の啓発・普及など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業農村フォトコンテスト、農業農村シンポジウム、ふるさと探検隊（H18桜川市），農業農村PRパンフレットの作成 <p>(4)保全活動支援事業 住民組織が行う保全活動に要した費用の助成・保全活動費用助成（500千円）</p> <p>H18大子町</p>

県における都市と農山漁村の交流関連事業の実施状況

4	5	6
農村環境課	農村環境課	農政企画課
中山間地域を支える人づくり事業	山村振興対策事業	農村いきいき高齢者活動促進事業
平成17年度～18年度	昭和40年度～平成23年度	平成16年度～19年度
2,922千円(県2,922千円)	106,652千円(国88,088千円 県18,564千円)	2,550千円(県2,550千円)
<p>1. 目的 中山間地域で頑張っている人たちが核になって、多様な資源を活用した魅力と活力のある農業・農村づくりを推進するため、地域興し実践者の現地派遣による活動支援及び、地域農業と観光が連携するモデル的な取組を推進する。</p> <p>2. 対象地域 振興山村地域、過疎地域、特定農山村地域等</p> <p>3. 事業内容 地域興し実践者派遣事業 農業振興に係る特産物開発、交流などの有識者を地域興しマイスターとして選定し、派遣。地域活動を支援する。 事業主体：県 委嘱人数：30名程度</p> <p>中山間地域農業観光連携支援事業 農業と観光業との異業種連携を図り、農業体験ツアーと直売所や地域の資源を一体的に結びつける活動を行い、アグリビジネスを進め、地域の窓口となるような組織の活動費に補助を行う。 事業主体：市町村、JA、観光協会等で設置する協議会 補助額：500千円以内(県1/3) 2年間 H18補助予定 北茨城市、太子町</p>	<p>1. 目的 山村等中山間地域の振興を一層促進するため、地域の特性を活かした農林漁業をはじめとする多様な産業の振興、都市との交流の促進とこれを支援する豊かな自然環境の保全及び地域の担い手の確保に必要な事業を総合的に実施する。</p> <p>2. 事業主体 市町村、農協、農業者等の組織する団体等</p> <p>3. 対象地域 振興山村地域、過疎地域、特定農山村地域</p> <p>4. 事業内容 ・ハード施設整備 農林漁業振興、就業所得機会創出、山村・都市交流促進、自然景観保全推進、定住促進生活環境整備、高齢者・助成等生きがい発揮促進のための施設等</p> <p>5. H18予定 常陸太田市：活動推進施設、茶加工施設 集落道整備等</p>	<p>1. 目的 高齢者の経験や技術を活かした高齢者活動を促進し、担い手等の支援・育成、地域の活性化を図る。</p> <p>2. 内容 農村いきいき高齢者活動推進事業 地域における高齢者能力活用に向けた取組及び高齢者自らが行う活動を支援する。 事業主体：市町村、特認団体 事業費：1,000千円 補助率：県1/2、事業主体1/2 H18予定：2市町村 主な内容 ・検討会、普及啓発、研修調査、交流会等 ・農産加工、直売活動、園芸指導等</p> <p>県推進事業 地域において、高齢者能力を活用した取組が円滑かつ広範に展開できるよう高齢者能力活用の推進方策等について、検討会等の開催や普及啓発を行う。 事業主体：県等 事業費：1,550千円</p>

県における都市と農山漁村の交流関連事業の実施状況

7	8	9
農産課	農産課	農産課
環境にやさしい農業普及啓発事業	いばらきの味販売戦略推進対策事業 (茨城県産米ブランド確立事業)	いばらきの味販売戦略推進対策事業
平成15年度～	平成6年度～	平成6年度～
180千円(県180千円)	54,802千円(県18,244千円)	1,245千円(県415千円)
<p>1. 目的 消費者の環境への関心が高まってきていることから、消費者向けに「環境にやさしい農業体験ツアー」を開催し、環境にやさしい農業への理解促進を図る。</p> <p>2. 内容 環境にやさしい農業に取り組んでいる農家を訪問して消費者に農作業や農産物の加工等を体験してもらう。</p> <p>事業主体：県 体験内容：たい肥を利用した土づくり、アイガモ農法</p> <p>環境にやさしい農業によって生産された農産物の収穫及び加工 環境にやさしい農業への取組農家との意見交換</p> <p>実施時期：10月24日 人数：消費者約30名</p>	<p>1. 事業内容 TV、ラジオCMや各種キャンペーンにより、茨城県産米のイメージアップと消費拡大を図る。 その中にキャンペーンの一環として、首都圏より「茨城米大好き家族」を募集し、稲刈り体験のイベントに招待し消費者との交流を実施する。</p> <p>稲刈り体験ツアー(10月頃 場所未定)</p>	<p>1. 事業内容 本県育成そば品種「常陸秋そば」の知名度を図り、ブランド化を推進するため、生産者と消費者の交流活動を中心に(社)茨城県穀物改良協会が事業主体となり各種事業を実施している。</p> <p>事業主体 (社)茨城県穀物改良協会 主な事業及び内容 そばの花鑑賞会 本県の生産地において、そば栽培の見学や、そば打ち体験による生産者と消費者との交流を通して、そばへの理解を深め「常陸秋そば」の消費拡大を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：H18.9 ・場所：常陸太田市予定 ・内容：県内外の消費者40名を招待し、そばの花を觀賞するとともにそば生産者との交流やそば打ち体験等を実施する <p>県民まつりでの常陸秋そば打ち実演会 大好き茨城県民まつりにおいて常陸秋そばの手打ち実演会を行い、県民に広く常陸秋そばを知ってもらうとともに消費拡大及びブランド化の推進を図る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時：H18.10.7～8 ・場所：笠松運動公園 ・内容：常陸秋そばの手打ち実演会及び常陸秋そばに係るアンケート調査を実施する。

県における都市と農山漁村の交流関連事業の実施状況

10	11	12
園芸流通課うまいもんどころ推進室	林政課	林業課
いばらき農産物サポーター設置事業	県民参加の森づくり推進事業	来て・見て・触れる森づくり体験事業
平成17年度～	平成7年度～	平成16年度～18年度
2,249千円(県費2,249千円)	1,761千円(県1,761千円)	596千円(県596千円)
<p>1.目的 本県で生産された新鮮で、安全・安心な農林水産物を愛用し、本県農業を応援してくれる県内消費者を「いばらき農産物サポーター」として登録し、県からの食と農に関する情報提供や産地交流会、料理講習会等への参加により、本県農産物に対する理解を深め、地産地消の推進役として活動いただく。</p> <p>2.サポーターを対象とした事業内容 情報誌の発行 産地交流会：いばらきの味販売戦略推進委員会 サポーターを産地に招いて、生産者との交流により本県農業への理解を図る。 収穫体験・料理教室：県農林振興公社 親子を対象に、収穫体験・料理教室を開催することにより、子どもに対する食農教育の推進を図る。 料理講習会：いばらきの味販売戦略推進委員会 本県農産物を使用した料理講習会を開催し、調理方法やバランスのとれた食生活の普及・定着、食の安全・安心についての啓発を図る。</p>	<p>1.目的 県民に森林・林業体験を通じて、森林の重要性を認識してもらうとともに都市住民と山村で働く林業関係者との人的交流により森林の保全・整備の気運を高め、県民参加型の森づくりを促進する。</p> <p>2.事業内容 育林支援推進事業(1,761千円) 県民を対象とした育林支援のための協力員(森づくり参加会員)の募集登録、PR、育林機器の管理 都市住民を対象とした育林実践活動(下刈り、枝打ち等)及び林業関係者との交流活動の実施</p>	<p>1.目的 県内の小学校高学年を対象に、森林内での治山、林道、造林の現場見学等の森づくり体験学習を通して、森林の持つ様々な働きへの理解と健全な森づくりへの関心の醸成を図ることを目的としている。</p> <p>2.対象者 小学校5,6年生とその保護者(150名)</p> <p>3.内容 治山ダム見学、治山・林道工事現場での作業体験、森林散策、木工教室等</p> <p>4.実施場所 常陸太田市、大子町、石岡市、つくば市ほか</p>

県における都市と農山漁村の交流関連事業の実施状況

1 3	1 4	1 5
林業課	漁政課	水産振興課
絆の森整備事業	漁場を育む森づくり事業	都市漁村交流施設整備事業費補助
平成18年度～21年度	平成14年度～	平成17年度～18年度
9,450千円(国6,750 県2,700)	300千円(県300千円)	188,800千円(国188,650千円,県150千円)
<p>1.目的 「森林と人との共生林」において、都市住民等が行う林業体験活動の場の整備を図り、人と森林との絆の回復を図ること。</p> <p>2.事業主体 つくば市</p> <p>3.事業実施個所及び区域面積 つくば市高崎地内 18ha</p> <p>4.事業内容 ・全体計画作成 ・森林整備 3.5ha ・林内歩道整備 500m</p>	<p>1.目的 漁場環境の維持・保全を図ることを目的に、一般市民や漁業者等幅広い参加者を得て、森づくり(育林・下草刈り等)を推進する。</p> <p>2.事業費予定 300千円(2地区)</p> <p>3.補助率 ・実行委員会運営費、啓発・普及活動費：1/2 ・植林事業経費 : 定額</p> <p>4.対象経費 苗木購入費、資材等</p> <p>5.実施地区予定 北茨城市、常陸太田市</p>	<p>1.目的 21世紀の茨城県の漁業と観光の融合を図り経済波及効果をあげるため、自然に囲まれた環境を活かして、自然・文化・人々との体験交流が図られるブルー・ツーリズム推進事業の拠点施設を整備し「茨城の漁業・漁村」の魅力を発信することにより、水産業を核とした漁村地域の活性化を図る。</p> <p>2.事業主体 北茨城市</p> <p>3.対象地域 大津漁港の背後集落</p> <p>4.事業内容 (1) 漁業歴史資料館(1,264㎡)【平成18年度実施】 1階展示コーナー：水産業関連資料、漁村の文化歴史資料、国選択無形民俗文化財「常陸大津の御船祭」の神船等展示 映像・情報コーナー：茨城県の漁業・漁港の歴史紹介、ブルー・ツーリズムの事業等を映像により紹介 2階展示コーナー：市の魚「アンコウ」関連の紹介 茨城県指定無形民俗文化財「大津町盆船流し」の盆船展示 (2) 体験研修棟(367㎡)【平成17年度実施】 各種漁業体験実習、魚料理教室、地元民俗芸能等の交流体験</p> <p>5.その他 平成19年5月1日オープン予定 資料館の隣地には、漁協等が実施主体となり、地場産品直売所、レストランを建設する計画有。</p>

県における都市と農山漁村の交流関連事業の実施状況

16	17	18
農村計画課	教育庁義務教育課	教育庁生涯学習課
農業農村ウォーキング事業	豊かな体験活動推進事業「地域間交流・長期宿泊体験の実施」	元気いばらきっ子「エンジョイ・サタデー」事業
平成15年度～	平成18年度～平成19年度	平成14年度～19年度
500千円(国250千円, 県250千円)	4,720千円(国4,720千円)	7,856千円(県7,856千円)
<p>1. 目的 余暇を利用した農村ウォーキング体験を通じて、県民が農業用水や水路の重要性等について認識を深めるとともに、農業・農村の多面的機能に対する県民の理解の促進に資する。</p> <p>2. 内容 土地改良施設等を含むコースを歩くウォーキング(期日等は未定)</p>	<p>1. 目的 子どもたちの豊かな人間性や社会性などを育むため、都市部から農山漁村や自然が豊かな地域に出かけ、農林漁業体験や自然体験を行うほか、長期にわたる集団宿泊等の共同生活を促進する。</p> <p>2. 事業内容 (1) 地域間交流の実施 地域間交流推進校 内容 農山漁村等との異なる地域との多様な交流に関わる体験活動を実施 平成17-18年度 水戸市立新荘小学校 平成18-19年度 日立市立中小路小学校 鹿嶋市立鹿野中学校</p> <p>(2) 長期宿泊体験の実施 長期宿泊体験推進校 内容 青少年教育施設、寄宿舍等での長期にわたる集団宿泊等の共同生活を通じて、協調性や規範意識、公衆道德等の育成を図る。 平成18-19年度 土浦市立全中学校(8校)</p>	<p>1. 目的 完全学校週5日制の実施に伴い、学校外での体験活動の充実が求められているため、県立社会教育施設の持つ特性を生かしながら各種事業を展開し、子どもたちに心豊かな人間性や自主性・創造性を育む。</p> <p>2. 実施場所及び実施回数 県立青少年教育施設(5箇所) 年間12回 県生涯学習センター(5箇所) 年間20回(ただし、県北生涯学習センターは、年間14回)</p> <p>3. 実施時期: 長期休業日を除く土曜日</p> <p>4. 主な活動内容 自然体験活動、宿泊体験活動、読書・創作活動、スポーツ活動等</p>

県における都市と農山漁村の交流関連事業の実施状況

19	20	21
教育庁生涯学習課	地域計画課	地域計画課
地域で育てる元気っ子体験村事業	地域づくりパートナー育成事業	地域づくり新市町主要プロジェクト支援事業 (いばらき元気な地域づくり総合サポート事業)
平成17年度～平成19年度	平成17年度～	平成17年度～
2,520千円(県2,520千円)	3,232千円(県3,232千円)	5,000千円(県5,000千円)
<p>1.目的 小・中学生が異年齢集団による共同生活をしながら、長期自然体験や寄宿舍体験に取り組むことにより、自主性・協調性等の社会性を養う。</p> <p>2.事業内容 (1)長期自然体験 普段の生活とは異なる自然の中での宿泊を伴う自然体験 ・実施期間：長期休業日の概ね1週間以上 ・参加人数：1カ所あたり30人程度(対象：小中学生) ・活動場所：キャンプ場等の野外活動施設、青少年社会教育施設等 ・活動内容：自然体験(野外活動等)、地域青少年との交流等 (2)長期寄宿舍体験(通学合宿) 日常生活の延長となる長期寄宿舍体験を実施(昼間は学校、夜は施設) ・実施期間：長期休業日以外の概ね1週間以上 ・参加人数：1カ所あたり30人程度(対象：小中学生) ・活動場所：青少年社会教育施設、公民館等の宿泊可能な施設 ・活動内容：生活体験(清掃、洗濯、料理等)、自主学習等 (3)実施方法等 ・実施主体：5市町村に設置する実行委員会 ・補助事業者：市町村 ・補助率：1/2(概ね1週間以上：限度額400千円、2週間以上：限度額600千円)</p>	<p>1.目的 各市町村が主体的に実施する地域振興策の効果的な推進と、その広域連携の促進を支援するとともに、地域の課題を自ら発見し、その解決に向けて企画・調整できる地域づくりの人材育成を行うことにより地域の活性化を図る。</p> <p>2.事業内容 地域づくり支援隊派遣事業(8カ所派遣予定) ・市町村等が主体的に取り組む地域振興事業に係る計画の策定等を支援し、地域間の交流・連携や多様な主体の参加による地域振興施策の推進を図るため、専門家、大学教授などの有識者をアドバイザーとして派遣する。 新市建設計画に位置付けられたプロジェクトについてもアドバイザーによる指導・助言の対象とする。 市町村、市町村が地域振興に資すると認めた地域づくり団体等が対象。 地域づくり人材育成事業 地域づくりを志す住民、地域団体などに対し、地域課題の発見能力や解決能力を高める実践的な研修プログラムを提供し、地域づくりのリーダーとして活動できる人材を育成する。</p>	<p>1.目的 合併市町村の主要プロジェクトの早期実現を図るため、部局横断的な検討組織(合併新市町支援・調整会議)を設置し、県の関連施策の連携や調整等により総合的な地域づくり支援を行う。</p> <p>2.内容 <平成18年度の支援市町及び支援プロジェクト> (公募により決定) 石岡市：ふるきよき交流空間づくりプロジェクト 〔主な検討内容〕 歴史・伝統、茅葺き民家、森林セラピーなどを活用した新しい交流プログラムの開発 長期滞在型森林浴の開発や観光案内人制度の活用、土産品の統一ブランドの検討などにおける既存の観光産業等との連携強化など 取手市：芸術文化を活かした都市再生プロジェクト 〔主な検討内容〕 東京芸術大学やアートプロジェクト等と公共施設の連携など芸術や自然などの地域資源を活かした交流促進 多様な市民ニーズや美と文化を創るアートなまちづくりに対応して、駅周辺に配置すべき公共・公益的な都市機能及びその整備実現方策など 行方市：(仮)なめがた水・菜交流のまちづくりプロジェクト 〔主な検討内容〕 新しい物産館の有効活用方策や農業・漁業、水辺等を活かした霞ヶ浦を代表する交流拠点地域の形成 生産者の顔の見える産地「行方ブランド」の形成など</p>

県における都市と農山漁村の交流関連事業の実施状況

2 2	2 3
地域計画課	観光物産課
グリーンふるさと振興機構支援事業	ワンデープラン in いばらき
平成18年度～	平成11年度～
1,450千円(県 1,450千円)	6,000千円
<p>1. 目的 グリーンツーリズムの中核として,本格的に実施する者に対する支援として,グリーンツーリズム実践団体に助成する。交付団体においては,体験ツアーや今後のグリーンツーリズムの受入団体として協力を求める。</p> <p>2. 内容 グリーンツーリズム推進事業(農村環境課)のうち,グリーンふるさと圏分として実施する。 実践団体への活動支援額 ・古民家・空き家活用型 標準事業費2,000千円×補助率1/2×2件 1団体あたり補助上限 1,000千円 ・一般型 1団体あたり補助上限 300千円×3件 補助希望団体の募集方法 一般公募(交付団体決定には市町の意見も取り入れる)</p>	<p>1. 目的 茨城のイメージアップと魅力発見をテーマにその土地でしかできない体験やその土地ならではの伝統・文化・自然等を取り込んだ体験ツアーイベントを関係市町村とともに実施する。</p> <p>2. 実施主体 漫遊いばらき観光キャンペーン推進協議会及び関係市町村</p> <p>3. 実施内容 実施時期:春,秋,早春 内 容:日帰り型,宿泊型,ウォーキングコース型 コース数:未定(H17:63コースを実施) 参加人数:未定(H17:5,585名の参加)</p>